

【道徳的価値を基盤に自己肯定感と自己有用感の向上→すべての生徒に居場所と出番と活躍の場を】
~~夢や目標を持っている75%↑↑、自分にはよいところがある81%↓、人の役に立ちたい96%↑~~

めざす生徒像

命を尊び人権を大切にする生徒(保護者95%↓)
 まじめにこつこつ粘り強く努力できる生徒
 主体的に学び自分で課題を見つけられる生徒
 自ら考え自ら判断し自ら決定し行動できる生徒
 仲間とともに学校生活を高められる生徒
 地域や社会に貢献できる生徒

明るい挨拶や会話がとびかう活気ある学校

(保護者90%↑)

自分らしさが発揮でき、温かい雰囲気のある学校
 理性と気品が漂い、目に耳に心に美しい学校
 互いに切磋琢磨し、高め合う学校
 地域に愛され地域に貢

めざす学校像

難しいことにも失敗を恐れず挑戦している(78%↑)

授業に集中して取り組んでいる(94%↑)
 ボランティアへの積極的参加(47%↑)

今年度の具体的方策と重点目標

2学期学校前進のためのキーワード

挑戦・学び・貢献

順調！この方向で

頭を鍛える

① 「わかった」「できた」が実感できる授業改善(学びあい90%↑、タブレット94%↑)

・振り返りとまとめから主体性を伸ばす ・心理的安全性の確保と協働的な学びの推進

・校内研「(仮)全ての教育活動での国語力の育成」と国語科研究指定(2年目) 研究事業の推進

② 読書活動の充実

・支援を要する生徒の学習指導の充実

・朝読書の積み上げとビブリオバトルの推進 ・ポップ作り、帯づくりの発信活動

③ 授業と諸活動で「思考力・判断力・表現力」を伸ばす取組の推進

④ 家庭学習の充実と低学力の克服 ・不登校等困難な環境にある生徒の学びへのアクセス

・各教科でつきたい資
質・能力の定着
・読書率の向上
・5教科100点以下の減
少
・全員学びへのアクセス

男子の体力向上を

体を鍛える

① 軸となる保健体育の授業の充実(新体力テストで全国平均オーバー)

・基礎体力・防衛体力の向上 ・生涯を通じてスポーツに親しむ素養づくり

② 生徒の主体的な部活動の運営と地域展開への試行

③ 家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進(遅刻者減少にむけた家庭連携)

④ 危険予測・回避能力の向上

・避難訓練の充実、地震後の学級指導の工夫(抜き打ち避難訓練の実施)

【頭と体と心の取組を
総合的に推進して】
R5年度の「総欠席日
数」と「月7日以上欠
席者数」より減少させる

総力あげて人権研を

心を鍛える

① いじめ問題への取組強化と自治的な学級・学年集団づくり(意見表明と言語化)

・ことばの質を上げ、豊かなコミュニケーション ・冬の人権研での人権学習

・人権学習、挨拶運動等で心を耕す

② 道徳教育と総学の往還

・【別表「ビジュアル図」参照】

③ ボランティア活動と地域貢献

・かまどベンチの活用

日常生活の中でこそ「心を鍛える」

・目標設定と自己評価によるPDCAサイクルの確立

・当たり前のことを特別熱心に取り組む

・「時を守り、場を清め、礼を正す」

・効果的な行動の意味づけ・価値づけ

非認知能力(社会情
緒的スキル)を高める
・「長期的目標の達成」
・「他者との協働」
・「感情を管理する能力」

その他の視点

① 合理的配慮を含む特別支援教育の推進(個別の指導計画を見直す習慣を)

② 不登校生徒のアセスメントに基づく組織的対応(生徒指導委員会とケース検討) 新方式により早期対応

③ いじめ等の事案対応は「事実の確認」「経過の確認」「その後の確認」まで 解消確認までの成長支援の充実

④ インターネットやゲーム等から生徒自身を守る取組 丁寧で適切な保護者への啓発

⑤ 危機管理の「さしすせそ」(最悪を想定し、慎重に、速やかに、誠意をもって、組織的に)

⑥ SOSの出し方に関する教育の推進(真の自立は適度な依存から) 大人の受け止める力を高める

⑦ 丁寧で組織的な保護者対応(弁護士の活用) 気軽に相談に乗る、ただし限界設定も

V(バイタリティ)
S(スペシャリティ)
O(オリジナリティ)
P(パーソナリティ)
を高める努力

「誠意」と「情熱」と「けじめ」をもって生徒や保護者に接する教職員
 学び続ける教職員、教えるプロから学びのプロへ変革する教職員
 人を敬い、大から尊敬される▶「人間力」あふれる教職員
 綱紀粛正を徹底し、公に尽くす教師

めざす教職員像

教職員自身が伸びよう、そのためには仕事を楽しもう

【学校運営のキーワード】

・PDCAサイクルとOODAループで実践を積み上げる

・ねらいと目的にcommitmentし、手段と方法を考える

数値データの利活用

QUテストを学年で
最大活用

